

—夢・大地 みんなが愛する水の里—



とめ

市議会だより

2018

第56号

11月21日

私が1番!
(中田幼稚園「運動会」)



目次

市民と議会の意見交換会	2
議会による事務事業評価	3
9月定期議会	4
平成29年度各種会計決算	7

議会による事務事業 評価を実施

～各常任委員会から3事業を選定～

産業建設常任委員会

グリーン・ツーリズム推進事業



【委員会評価】概ね適正である
【今後の方向性】拡充
【理由】事業実施主体が市協議会から、農家民泊組合のような市民による運営に移行できるよう下地づくりが必要である。

道路メンテナンス事業

【委員会評価】きわめて良好である
【今後の方向性】継続
【理由】道路の修繕は、市道を安全に通行するために欠かせない重要な事業。これからは地域と連携した協働による道路メンテナンスについて検討が必要である。

担い手育成支援・新規就農支援事業

【委員会評価】概ね適正である
【今後の方向性】継続
【理由】離農実態の把握、関係機関との情報共有、現状把握すること。また、就農形態ごとの対策を強化し、「登米市で就農したい」と思わせる環境整備と営農指導サポート体制の充実を関係機関と連携検討を行うべき。

教育民生常任委員会

健康づくり啓発事業(国保会計) 「健康フェスティバル」



【委員会評価】問題がある
【今後の方向性】縮小・廃止
【理由】健康づくり啓発は必要であるが、一過性のイベントでマンネリ化が否めない状態。「イベント型」から地域に密着した「出前型事業」へと移行すべき。

教育研究所運営事業

【委員会評価】問題がある
【今後の方向性】縮小・廃止
【理由】教育研究所を設置していない市町村でも学力向上は図られている。現場である学校及び校長が中心の取り組みが展開されるよう、教育委員会は学校との連携の仕組みづくりに予算を費やすべき。

医学生奨学金等貸付事業

【委員会評価】問題がある
【今後の方向性】改善
【理由】現在、当制度を利用した勤務医はいない現状である。若い医師の勤務が難しい現状を踏まえ、奨学金制度は看護師に特化し、奨学金とは違う形での医師確保対策へと予算を振り向けるべき。

総務企画常任委員会

市民バス等運行事業



【委員会評価】良好である
【今後の方向性】改善
【理由】市民生活を支える公共交通はなくてはならない事業。市民バス等運行の効率性を向上させ、市民の利便性を高める公共交通体系を構築すべき。

地域おこし協力隊による 地域活性化事業

【委員会評価】概ね適正である
【今後の方向性】拡充
【理由】多くの地域おこし協力隊が地域活動に関われるよう、市内コミュニティに積極的な制度活用を呼びかける。また、地域おこし協力隊専門相談窓口を設置し、本市での生活や地域活動支援、移住について支援すべき。

ふるさと納税寄附金事業

【委員会評価】良好である
【今後の方向性】拡充
【理由】頂いた寄附で「何を実現したいか」を明確にすることで、全国の方々の気持ちをつかみ、支援につながるよう寄附のチャンネルを増やすべき。さらに、ふるさと納税を通じた縁を長くつなぐ努力が必要である。

【目的】

執行機関の事務執行を監視・評価し、議会としての議決責任や説明責任を果たし、積極的に政策立案などを行うために実施。

【政策提言に向けて】

現在、継続して調査しており、提言内容が整い次第、市長へ提言書を提出する。

市民と議会の意見交換会を開催

～152名の市民の皆さまに参加いただきました～



石越会場（石越公民館）



米山会場（米山公民館）



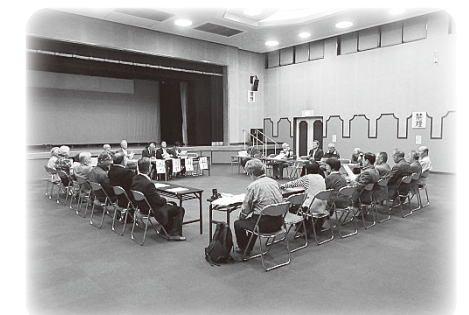
最も多くの市民が参加した登米会場（登米公民館）



津山会場（津山公民館）



豊里会場（豊里公民館）



中田会場（中田農村環境改善センター）



南方会場（南方公民館）



迫会場（新田公民館）



東和会場（米谷公民館）

市民と議会の意見交換会を10月18日、19日の2日間、9町域（9会場）で開催。今回は「登米市の地域医療を考える」と地域の実情に合わせた「地域テーマ」によって、意見交換を行いました。延べ152人の市民の皆さまに参加いただき、活発な意見交換が行われました。議会では、これからも機会を捉え、市民の皆さまと意見を交換する場を設けてまいります。

登米市パークゴルフ場・レクリエーション施設条例

登米市議会 初 議案を否決 賛成者ゼロ

9月定期議会

平成30年定例会9月定期議会は、9月7日から10月3日までの27日間の日程で開かれました。本定期議会では、29年度の各種会計決算の認定や条例改正など37議案を審議しました。一般会計補正予算など36議案を原案のとおり可決したものの、「登米市パークゴルフ場・レクリエーション施設条例」の制定にあつては、条例案の不備等の理由により否決しました。
決算は、決算審査特別委員会(委員長 岩淵正宏議員、副委員長 工藤淳子議員)を設置し、審査の結果、一般会計のほか、6特別会計と3企業会計の決算を認定しました。また、一般質問には18人の議員が登壇し、市長にその考えをただしました。



採決の様子(起立者ゼロ)

条例の制定

◆パークゴルフ場・レクリエーション施設条例

【目的】

31年春にオープン予定のパークゴルフ場およびレクリエーション施設の管理等に関する、必要な事項を定めるため。

【概要】

登米市パークゴルフ場およびレクリエーション施設は、市民の心身の健全な発達や健康増進を図ること、世代間や市内外の交流を促進するために設置することとしている。



再整備中のチャチャワールド

パークゴルフ場とレクリエーション施設が融合する施設は、全国的にも珍しい。幅広い世代の来場が見込めるなど期待される効果が大きく、完成を待ち望んでいるところである。
議案審議では、指定管理者制度導入にあつての考え方や、入場料と施設使用料の考え方など、条例の内容に不備が見て取れることから、25名の全会一致で否決とした。

理由①
条例としての完成度が低い

◆これまで高森公園内にパークゴルフ場をつくと説明してきたにもかかわらず、突如、条例案の段階で公園の枠組みをなくし、パークゴルフ場と附帯する施設という提案に変わった。「詳細については、これから関係者と相談する」では説明がつかない。

◆ちびっこサーキットは、市の所有財産にもかかわらず、料金表から抜けている。このような不備があることから、もう一度整理し直すべきである。

◆入場料や利用料の設定について納得できない。三つの遊具に対して、400円を支払い入場する方がいるだろうか。さらに、パークゴルフ場の利用料は600円である。200円の差額が生じること、場内での入場者のチェックなど、問題の発生が考えられる。

理由②
31年度からの指定管理には大きな疑問を抱く

◆仮に2月定期議会で議決し、指定管理者が決定したとして、レクリエーション部分の4月1日開園まで2カ月を切る状況となる。そこからパークゴルフ場がオープンする6月まで2カ月しかない。

仮に新たな指定管理者が受託した場合、レクリエーション部分の管理・運営面の安全性に不安がある。さらに、芝生の管理などについても専門性のある業者による管理が望ましいと聞いている。これらのことから、課題が非常に多いと考える。

◆先の一般質問で、「市の指定管理の考え方やガイドラインは、ある程度一定の直営期間を経て、指定管理者制度を導入するのが大原則である」と答弁している。それにもかかわらず、オープン当初から、指定管理に出そうとしている市の姿勢に疑問を感じる。

理由③
議員に対する説明不足

◆本条例の制定にあつては、議員に対する説明が足りなかつたと感じている。さらに、委員会調査での指摘事項が反映されていない。これら審議するには無理がある。



整備が進むパークゴルフ場

反対討論

曾根充敏議員

条例としての完成度が低い。「公園内にパークゴルフ場をつくる」と説明してきたのに、パークゴルフ場と附帯する施設という提案に変わった。このような状況では、現場に大きな混乱が生じる。精査、調整、検討を行い、整理し、提案すべきである。その姿が見られない以上、本案に反対する。

中澤 宏議員

最終的な管理の想定、利用の想定が定まっていない。なぜ非公募でだめか。なぜ公募なのか。非公募であれば、非公募に合わせた条例の提案がある。もう一度整理し、手直しをして、再提案すべきである。この機会を捉え、より良い提案となるよう期待して反対する。

相澤吉悦議員

条例については、おおむね良いが、県内でレクリエーション施設とパークゴルフ場の両方整った施設がない中、入場料の違いと遊具の利用については、問題があると判断し反対する。

工事契約

◆登米祝祭劇場舞台音響設備改修の工事

最低制限価格と同額入札額の否決を踏まえた、入札制度改正後の議決事項
【契約金額】2億3652万円
【契約の相手】ヤマハサウンドシステム株式会社 仙台営業所
【工期】31年3月15日

工事契約の変更

◆(仮称)登米インター工業団地造成(第2期)工事

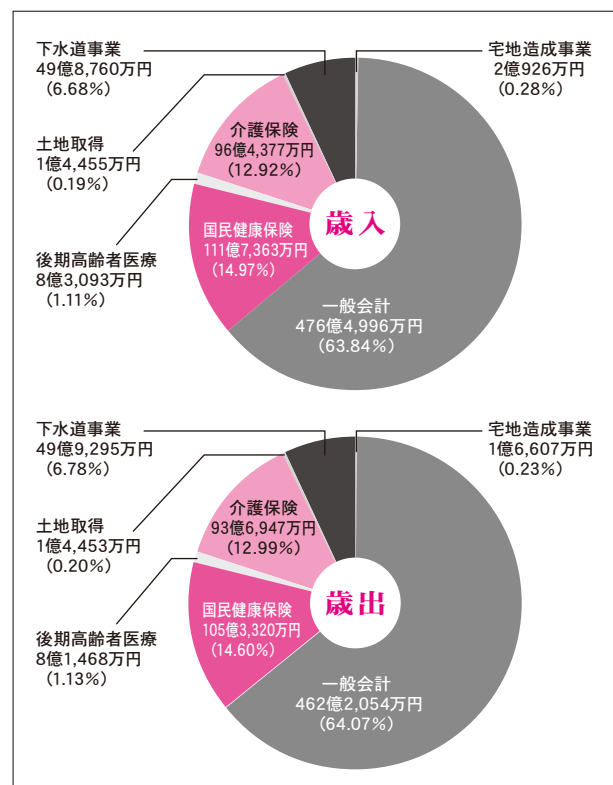
【契約金額】(変更前)3億8772万円(変更後)4億453万円
【契約相手】浅野工務店・猪又組特定建設工事共同企業体

※変更内容
想定より硬い中硬石の出岩による掘削方法の変更
土工(造成・道路) 2214万円
現道路盤厚さ確保による減額等 Δ1089万円
その他の附帯工事 555万円

平成29年度 各種会計決算



総額 721 億円



一般会計は、一般的な行政にかかる経費を扱うもので、本市の29年度決算では歳入476億4996万円、歳出462億2054万円、歳出の執行率は95・40%です。また、歳入から歳出を差し引いた額から、翌年度に繰り出す財源を除いた実質収支額は12億7888万円であり、このうち6億4000万円が財政調整基金に積み立てられます。

一般会計から切り離して独立して行われる経理が特別会計です。本市の特別会計は、国民健康保険、後期高齢者保険、介護保険、土地取得、下水道事業、宅地完成事業の6会計で構成されます。29年度6特別会計の総額は、歳入で269億8976万円、歳出で259億2093万円となり、翌年度へ繰り出す財源を除いた実質収支額は10億694万円でした。

事業名	収入	支出
水道事業	24億4,978万円	22億9,818万円
病院事業	67億2,710万円	79億3,215万円
老健施設事業	3億9,932万円	4億4,727万円

本市が経営する現業のうち、地方公営企業法の適用を受ける事業で構成されます。独立採算を採るため個別企業会計として扱われます。本市の企業会計は水道事業、病院事業、老人保健施設事業の3事業です。それぞれの損益計算書による29年度収支は、次のとおりです。

歳入では、自主財源の柱である市税収入が前年度に引き続き好調で増加している。一方、本市の財政を支えている地方交付税、普通交付税が段階的に縮減されているため、前年度と比較して約12億円減額となった。それでも、依然として交付税が歳入の4割近くを占めており、依存財源に頼らざるを得ない厳しい財政運営だった。

歳出では、多くの建設費や福祉の向上に伴う扶養費が年々増加傾向にあり、義務的経費や消費経費を押し上げる要因の一つとなっているなど、健全財政の維持・確保に苦慮されたものと思う。

昨年度、公共施設等総合管理計画が策定され、現在、各部署で個別計画の策定が進められているが、進捗状況は順調とは言いがたいようである。しかし、人口減少の視点により施設の利用需要が変化していくなか、長期的視点から公共施設の更新、統合を計画的に行い、公共施設の最適な配置と効率性を推進していくことは、本市にとって先送りできない問題である。

一般会計

特別会計

公営企業会計

監査意見

米川の水かぶり ユネスコ無形文化遺産登録へ

登録決定は、世界にPRするチャンスである。周知のための懸垂幕について、なぜ、迫・中田・南方庁舎、東和総合支所だけなのか。全市をあげて宣伝すべきではないか。



他の総合支所、公共施設には、手作りの周知ポスターを掲示したい。

文化庁からユネスコに「来訪神：仮面・仮装の神々」として、無形文化遺産登録に係る提案書が提出されている。本年11月の審査会を経て登録される見通しであることから、登録記念事業を実施するとともに、情報発信を推進し、市内観光の誘客を図るもの。

登録決定の懸垂幕、ポスター、登録記念冊子、記念品、情報発信動画、行事周知用パンフレットの作製など、175万円を補正。

一般会計

世界への情報発信と観光誘客の拡大を図ります

175万円

体調不良児対応型 病児保育事業

【事業費】437万1千円

【内容】保育中に体調不良となった児童に対し緊急対応するため、国の制度に基づき、看護師等を配置した保育所等に補助金を交付する。

医療用ウィッグ購入費 助成事業

【事業費】90万円

【内容】がん患者の就労や社会参加を促進するため、医療用ウィッグ本体の購入費の全額（上限3万円）を助成するもの。助成対象者（見込み）30名分。

公共施設総合管理計画 個別施設計画策定事業

【事業費】32万8千円

【内容】これからの時代に必要な公共施設のあり方を市民等と行政が一体となり、方向性を示していくことを目的に（仮称）「登米市の公共施設を考える会」を設置する。

決算審査を終えて

成果を確認し、次年度の事業に活かすためにも大切な決算審査。

わかりやすい質疑、答弁となるよう留意しつつ、今回は、各常任委員会による事務事業評価を行っていることもあり、より深掘りできるよう対処しました。

建設的な質疑や提言が多く、充実した内容であったように感じました。



岩淵正宏 委員長

お金の使いみち

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会（岩淵正宏委員長、工藤淳子副委員長）では、29年度一般会計のほか、6特別会計と3企業会計の決算を審査しました。

まなぶ

【教育】



Q 全国学力標準テストの結果を公表する考えはないか。
A 公表する方向で進めたい。
Q 学校の机・椅子整備に係る入札の全てで、市内の同じ業者が落札している。落札率も予定価格に近く、競争入札にふさわしいものだったか。
A 予定価格の積算について、精査が不十分であったと感じる。製造できる業者が極めて限定されている中で、競争入札の案件として適切であったのか、考えていかなければならない。

つくる・なおす

【土木】



Q 中津山整備事業（定住促進住宅）について、24区画のうち、何区画が決まったのか。
A 11区画について応募があり、41名が定住する予定である。
Q 社会资本整備総合交付金について、計画通りに交付されているか。
A 30年度の交付状況は、予算に対して約8割の交付である。要望に対しては4割ぐらいの交付しか受けていない。

けいかく

【総務】【企画】



Q シティプロモーション推進事業について、一本の動画に約1000万円をかける手法に妥当性を感じるか。また、「登米無双2」は怖いという心証を持つ人もいようだ。安価で効果のあるPR手法を検討してはどうか。
A 見る人によって様々な評価があると認識している。今後のPRのあり方をしっかりと再検討する。

おさいふ

【歳入】



Q 市税徴収業務中、特に収入未済のもの対応は適切に行われているか。
A 日程立てをして徴収し、領収書もその場で渡すなど、各種検討をし、実施している。
Q 市税等収納状況中、たばこ税約4000万円の減をどう分析するか。
A 喫煙者の減少で、売上本数が約770万本減少したものである。

あんしん

【防災】【消防】



Q 洪水ハザードマップは、県北高速幹線道路に対応しているか。
A 考慮している。河川のいろいろなところが同時に破壊したという想定でつくっている。
Q 災害用公衆電話は更新か、新規購入か。
A 避難所で安否情報を家族等に伝えるためのもので、新しく99台購入した。

しごと

【農林】【商工】【観光】



Q 米川の水かぶりが本年11月にユネスコ無形文化財遺産登録予定だが、これは地元への努力によるところが大きい。今後今ままで通りの9万円の補助金のままでよいのか。
A 地元米川の皆さまと協議し、対応していく。
Q 地元食材の学校給食食材供給助成金が401万円となっているが、その内容は。
A J.Aみやぎ登米が市内農産物を集荷して給食センターへ納品している。この事業費の2分の1の範囲で助成している。

くらし

【民生】【衛生】



Q 子どもは常に集団生活の中にいるため、インフルエンザへの感染リスクが高いものと考ええる。
A そこで、子どもの予防接種に対し、費用的な助成措置を講ずるべきと考えるが。
Q 当該要望は把握しているが、インフルエンザは都度予防接種が必要となること等の理由から、非常に経費がかかる。去年から検討しているところである。

Q 院内給食の契約更新ができなかったことによる影響は。
A 人件費、委託料合せて、前年比で約6500万円弱の費用増となった。
Q 東北大学との寄附講座の状況は。
A 契約を行い、受け入れ態勢の準備を行った。
Q 医学生奨学金制度を市内に開業する先生方に適用できる仕組みにできないか。

特別会計（病院事業）

Q 検討させていただく。
Q 地域包括ケアシステムにおける開業医との連携状況は。
A 市民病院での取り組みを訪問して説明することも、院長自ら地域をまわり活動している。

総務企画常任委員会

入札制度改革 市民に疑念を持たれないように



現在建設中の迫児童館（31年4月開園予定）

新たな入札制度

（7月12日調査）

2月定期議会に提案された迫児童館新築工事請負契約の締結案件は、落札価格が最低制限価格と同額だったことから採決は見送られ、委員会付託となった。付託を受け調査した結果、現行の入札・契約事務について見直しを検討するよう意見を付した委員会報告書を提出するに至った。

執行部による検討の結果、新たな入札制度が8月から施行されることになり、その内容について調査を行った。

○最低制限価格設定の見直し
積算資料や入札結果の公表などにより、業者が高い精度で積算できることから最低制限価格の設定方法を見直す。従来の最低制限価格算定基礎額に「ランダム係数」を乗じ、最低制限価格を設定するもので、応札後に決定するため、

機密性が高まるとともに推測されにくくなる。

○低入札価格調査制度の導入
最低制限価格を下回る応札は失格だが、近傍価格で失格となるケースもある。そのため、品質低下やダンピング受注の防止などを目的とした調査基準価格を定めた低入札価格調査制度を導入する。これにより調査基準価格を下回った価格を提示した業者に対して、その価格で適正な履行ができるか否かを調査した上で落札業者を決定するようにする。

億単位の入札で、最低制限価格と千円単位まで一致するのは市民感覚的にはあり得ない。市民に疑念を持たれないよう8月から導入する新入札制度に期待する。

行政視察報告

7月25日～27日

北海道旭川市 公共交通計画

旭川市では、市域の中でも過疎地域である米飯地区に交通弱者に対する公共交通計画の取り組みとして、29年11月から貨客混載事業の運用を開始している。理由は、25年度にバス路線を廃止し、ジャンボタクシーによるデマンド交通に切り替えても赤字は減らなかつたからである。「貨客混載」とは、デマンドによる市民の利便性を維持しつつ赤字解消を目指すもので、乗り合いタクシーが宅配業も兼ねて運搬する取り組み。

デマンドは、本市でも米川地区で導入しているが、貨客混載の可能性を探るべきだと提案したい。

北海道東川町 ひがしかわ株主制度

東川町のまちづくりプロジェクトの中から投資したい事業を選び、投資すれば株主にな

れる。株主には専用の宿泊施設を無料提供するなど、町に訪れるきっかけを創出。投資者の延べ人数は3万人を、投資額は6億円を超えている。本市でも同様の制度を検討すべきだと感じた。

北海道岩見沢市 公共施設マネジメント

人口減少が進む中、合併市特有の課題である多くの公共施設の適正配置について調査した。現在、岩見沢市は公共施設再編基本計画を策定中で、32年度までには個別施設計画も策定する。

本市でも個別計画を策定中だが、PFI方式による施設整備や類似施設の統合等、岩見沢市の先進的な取り組みも参考にされたい。

※PFI方式とは
公共施設等の建設、維持管理等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

第7次宮城県地域医療計画

（8月27日調査）

29年度病院事業決算状況は医師不足が起因し、不良債務がおおよそ7億5千万円、資金不足比率が12・7%となり、地方債の借入れは県の許可を得なければならぬ。病院事業中長期計画では、必要に応じ「経営形態の見直しと民間活力の導入を検討する」としている。

今回の調査を踏まえ、病院運営、医療機能の在り方について、市、議会、市民とともに議論することが早急に必要と考える。

がん患者医療用ウィッグ購入 助成事業

（6月14日調査）

がん治療では、脱毛などの外見の変化に悩む人が多い。この医療用ウィッグ（かつら）は高額なものとなっている。今回、宮城県が購入助成事業

として補助金を交付することになる。

市内では、がん患者とその家族を支える支援団体がサロンを開いたり、ウィッグの無料貸し出しなどを行っているが、その数は限られている。栗原市などでは、すでに実施されており、本市でも、がん患者は増加傾向にあるため、当該事業の一日も早い実施が望まれる。

体調不良児対応型病児保育事業

急な発熱など、保育中の体調不良となった子どもに対して、看護師等を配置し対応する事業である。

今回は実施体制が整った民間保育所が対象となっている。こうした病児保育を実施する施設がさらに増えていくよう検討されたい。

陸上競技場整備事業

（8月10日調査）

施設の整備内容や建設候補地における整備課題の洗い出しなどのために行われた基礎調査の結果について、その概要が示された。

完成まで8年を要し、総工費約25億円の陸上競技場が本当に必要なのか、公共施設の在り方全体を通じ、慎重な議論を要する事業と判断し、継続調査とした。

その他の調査事項

- パークゴルフ場整備事業
- 障害者計画・第4期障害福祉計画の総括
- 小中学校等再編構想



宮城県保健福祉部での調査

病院運営、医療の在り方は 市民と議論することが必要

教育民生常任委員会

産業建設常任委員会

有機センター 再編検討へ



迫有機センター 豊里有機センター

有機センターの今後の方向性

(6月28日調査)

現在、市が所有する有機センターは6カ所あり、指定管理によって管理されている。現状では稼働率が伸び悩み、当初の成果が期待できない状況にある。

今後は現状の処理可能量を維持しながら、3段階のステップを踏んで集約していく内容が示された。

利用農家や市民への説明には、丁寧かつ慎重に行うよう願うものである。

建設部所管事務調査

(6月14日調査)

市営住宅については、老朽化に対応し順次、更新計画に従って更新していくとのことである。現在は、左沼大網地区の3市営住宅(計54戸)を西大網地区へ集約の上、建て替えを行うとしている。市道整備に関しては、石打

坂・西館線および梅ノ木・平柳線について、現地調査を行った。両線は将来的には環状線を構成する路線となる。完成により周辺道路の渋滞緩和にもつながるものであることから、早期の完成が望まれる。

石越高森公園の整備

(8月22日調査)

パークゴルフ場の工事進捗状況、管理運営等の方針が示された。石越高森公園の管理については、今後、教育委員会が所管する旨の報告を受けたが、「交流人口の拡大・経済効果を考えると所管部署について検討が必要ではないか」とした。

また、条例案についても、難しい料金体系になっており、不便を来す恐れがあるなど、見直しが必要である。今後の管理の在り方を含め、再度検討が必要である。

行政視察報告

7月10日～12日

埼玉県深谷市

下水道事業の公営企業会計

本市の下水道会計は32年度から企業会計に移行させる計画であることから、既に実績が評価されている深谷市において調査を実施した。会計方式の移行に際しては、財務書類を通して経営状況や課題が明確になるなど、市民メリットが大きい。本委員会としては、期日までに企業会計への移行が確実に行われるよう、調査を継続する必要があると考える。

栃木県真岡市

新規就農者確保対策事業

いちこの産地と知られる真岡市は、農業技術支援や空き施設の活用策など、さまざまな事業を行っており、素人も安心して就農できる環境が整っている。農業が基幹産業である本市において、後継者・担い手不足は喫緊の課題である。本市でも安心して就農できる環境整備を図られたい。

栃木県小山市

地区まちづくり活動

小山市で制定しているまちづくり条例は、地域住民みずから「自分たちの地域をどのように発展させるのか」を考え、活動する仕組みになっている。

まちづくり構想の実現化に向け、市が市民と共同で歩んできたことは素晴らしい。

広報広聴委員会

9月3日～4日

岩手県金ヶ崎町議会

編集のモットーに「ありのままに、スピード発行」を掲げている。編集作業を定例会終了から2、3日で開始。粗原稿を待たず、録画映像からみずからの一般質問の原稿を作成している。

結果より審議過程を重視、表紙はシリーズもの、紙面はイラスト・図表・グラフを活用するなど創意工夫し、過去の号にこだわらない広報紙づくりをしている。

青森中央学院大学

大学生とのワールドカフェ実践研修を行った。ワールドカフェとは、意見交換会をワークショップ形式で行うもので、当日は学生、委員それぞれ3名ずつテーブルにつき、少数での意見交換を行った。20分後、各2名が移動し意見交換を行い、その後、元に戻り、他のテーブルでどのような意見が出たかを報告、共有するものでした。少数による意見交換のため他の人の意見も集中して聞くことができ、必ず自分の意見を言える。席替えをする井戸端会議のようであった。たくさんの人と話ができ、楽しくなる形式であった。



議会運営委員会

10月11日～12日

愛知県犬山市議会

議長は、アメリカ生まれの外国出身の方で、29年5月に就任した。市議会では、市民に議会を身近に感じてもらえるような、開かれた議会の取り組みを行っている。本年2月には、女性にとつて住みやすく、暮らしやすいまちづくりを目指すことを目的として、「女性議会」を開催した。さらに、本年9月には、市民が議会(議場)で全議員に発言できる「市民フリースピーチ制度」を実施した。その他として、親子議場見学会やオープンドアポリシー(オープン議長室)を導入している。

岐阜県多治見市議会

多治見市美濃焼をしよう条例

この条例は、日本の食文化と美濃焼に対する理解を深め、普及を推進することにより、美濃焼の発展に資することを目的として、議員提案によって制定した。

市民との対話集会

対話集会を4年間行い、さまざまな問題が生じてきた。そこで課題を抽出し、変更を行った。①テーマを幾つか設定②テーマごとに会場設置③椅子の配置を車座に④平日昼、土日開催。変更後は、会場の雰囲気柔らかくなり、意見交換が活発になるなどの効果があった。さらに、高校生や中学生との対話集会、市民との談話室も開催している。

議会の動き

7月2日	鳥根県飯南町教育経済常任委員会行政視察 来庁
4日	北海道北広島市議会 会派「平政会」行政視察 来庁
6日	岩手・宮城県際市町議会議長会 定期総会
9日	議会運営委員会、教育民生常任委員会、広報広聴委員会
10日	産業建設常任委員会行政視察(～12日)
17日	【埼玉県深谷市、栃木県小山市、真岡市】大和町議会 議会活性化調査特別委員会行政視察 来庁
18日	千葉県東金市議会 文教厚生常任委員会行政視察 来庁
25日	【北海道旭川市、東川町、岩見沢市】総務企画常任委員会行政視察(～27日)
30日	【北海道旭川市、東川町、岩見沢市】教育民生常任委員会
8月9日	産業建設常任委員会
9日	岩手県紫波町議会 政務調査会総務部会行政視察 来庁
11日	岩手県紫波町議会 政務調査会総務部会行政視察 来庁
22日	岩手県紫波町議会 政務調査会総務部会行政視察 来庁
23日	岩手県紫波町議会 政務調査会総務部会行政視察 来庁
24日	岩手県紫波町議会 政務調査会総務部会行政視察 来庁
9月3日	広報広聴委員会行政視察(～4日)
7日	【岩手県金ヶ崎町、青森県青森市】9月定期議会(～10月3日)
11日	政策企画調整会議
14日	総務企画常任委員会、教育民生常任委員会
19日	産業建設常任委員会
21日	福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会
25日	産業建設常任委員会、教育民生常任委員会
26日	政策企画調整会議

問 市避難所は、高台に指定すべき

答 洪水時に浸水しない場所を指定



相澤吉悦 議員

問 近年の異常気象により、日本列島各地で集中豪雨による甚大な被害が出ている。こうした状況を踏まえ、本市でも異常気象に対し、早急に対策

を講じなければならぬ。国が定める指定基準に基づき、緊急的に避難する場所は、全世帯に配布した洪水ハザードマップに掲載し、市民の皆さまに周知を図っている。災害時の避難は、できるだけ高台に指定すべきと考えるが。

答 国が定める指定基準に基づき、緊急的に避難する場所は、全世帯に配布した洪水ハザードマップに掲載し、市民の皆さまに周知を図っている。

問 災害時の避難は、できるだけ高台に指定すべきと考えるが。

答 浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮し



決壊寸前の迫川

た上で、市民の生命・身体に危険が及ぶ恐れがないと認められる場所を指定していく。

全国学力、学習状況調査の結果を踏まえて

問 県教育委員会は、今回初めて県の全国順位を公表した。「県平均は、小学校5科目でいずれも最下位、中学校も40位台と下位層に低迷した」と発表。本市は、県内でどの位置にいるのか。

答 県平均の正答率を比較すると、県平均と同程度の正答率であり、中学校の理科については、県平均をやや上回っている。

問 なぜこのような結果になったか分析し、改善策を考えるべきと思うが。

答 どのようなところでつまづきかなどを把握・分析し、学習指導の工夫・改善に努め、子ども達の豊かな人間性や学力向上に取り組んでいく。

問 ILC周知・誘致推進について伺う

答 経済団体・4市町連携のもと取り組む

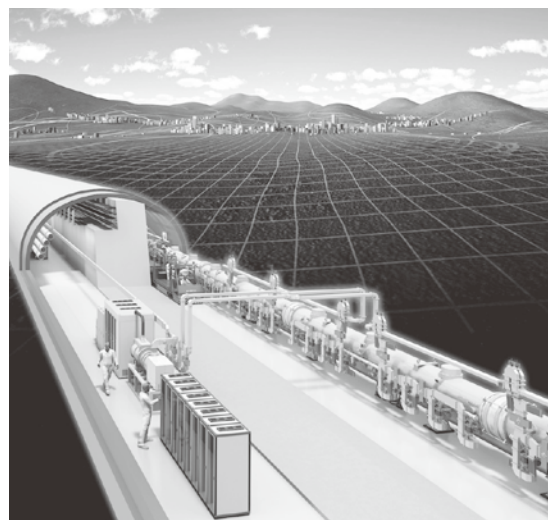


佐々木好博 議員

問 現在、一関市をはじめとした周辺自治体では、ILC(国際リニアコライダー)の誘致活動が盛んに行われているが、本市の活動が見えてこない。

答 ILCは科学的側面よりも、私たちの生活にどんな影響や恩恵があるのか。市民への周知を含め誘致実現へ取り組みなければならぬと思うが。

問 大変重要な施設だという認識は持っているが、これまで市民への周知や誘致活動については十分ではなかった。残された時間内で、関係団体や企業等と連携し周知・啓発に努めていく。



ILCイメージ図 ©Rey.Hori

市職員の働き方改革について

問 第三次登米市定員適正化計画により職員数は減少しつつあるが、それにより職員への負担が増え、市民サービスの低下を招いていないか。

答 合併時には1198人いた職員は、28年度には782人となった。職員の配置は毎年11月に行う業務量調査により適正

に行っている。市民評価については、25年に実施した市民意向調査結果から一定の評価を頂いているものと認識している。

問 効率化、市民サービス向上のために、AIやRPA導入を提案するが。

問 水と親しめるまちづくりを

答 改善の方策を検討していく



氏家英人 議員

問 本市は「水の里」を標榜している。しかし、水と親しめるよう配慮し整備されたはずの観光施設や親水公園の現状では、「水の里」とは言い難い。そこで、3カ所の今後の維持管理について



水の流れを止め、不衛生な下田中ポケットパーク

問 本市は「水の里」を標榜している。しかし、水と親しめるよう配慮し整備されたはずの観光施設や親水公園の現状では、「水の里」とは言い難い。そこで、3カ所の今後の維持管理について

①水沢県庁記念館前の堀になぜ水を流さないのか。

②新待井公園(梅ノ木4号公園)になぜ水を張らないのか。

③登米市民病院前の親水施設をどうして稼働させないのか。

答 ①当初、地下水の水量不足により大半を水道水で賄っていた。水道料

「市民病院移転新築へ」の新聞報道について

問 6月9日(土)の河北新報の「本市が市民病院を移転新築させる方針を固めた」との記事に大変驚いた。どうしてこのような記事になったのか。

答 記者が取材を通じて自分なりの判断で書いたものと理解している。

及び電気料金の負担などで通水は難しい。
②18年頃から汲み上げた地下水に砂が混じるようになり、取水ポンプが頻りに故障したことから停止した。しかし、整備された親水空間の活用の方は、調査研究したい。
③通水停止は埋設配管からの漏水が理由だ。現在、水路が濁り、不衛生な状態であることから改善の方策を検討する。



ベストな1冊に出会おう!

問 市長の考える図書館構想は



上野 晃 議員

問 市長の所信表明には図書館に関する言及がない。市長の図書館構想は。

答 素晴らしい図書館をつくりたいので間に合わないかもしれないが、基本方針は変わっていない。

先進市を自ら視察し、本市らしい図書館を深く研究している。

問 「登米市図書館構想」においては、新図書館の開館目標年次を32年度と定める。市長はかかる構

想につきどう考えるか。

答 素晴らしい図書館をつくりたいので間に合わないかもしれないが、基本方針は変わっていない。

問 教育長の考える、市民にとっての図書館の意義は。

答 図書館は人づくりのための重要な役割を担うものと認識していることから、本市の規模に応じ、市民ニーズに的確に応えられる図書館づくりを目指す。

読書・勉強習慣の確立

問 教育長の考える読書の意義は。

答 読書によって情報化社会を生き抜く能力が培われ、また、子どもについては、読書力を養うことで学力向上にもつながるものと考えている。

問 教育長の考える、市民がよき本と出会い、また、読書・勉強習慣の構築を後押しする施策は。

答 手法の一つとして、十分な蔵書や閲覧スペースを有し、明るく開放的な新図書館の整備を目指す。

※1 ILC…全長約20kmの直線上の加速器をつくり、電子と陽電子の衝突実験を行う計画。
※2 AI…人間の知的ふるまいの一部をソフトウェアを用いて人工的に再現したもの。
※3 RPA…ロボットによる業務自動化の取り組み。

「祖父母手帳」の発行を

発行に向けて検討する



熊谷和弘 議員

「祖父母手帳」は、祖父母世代の孫育てをサポートするもので、配布する自治体が全国的に広がっている。これは、育児の方法や考え方が時代

とともに変化する中、子育て中の父母世代と祖父母世代がお互いに育児についての理解を深め、共に楽しく育児に向き合っていくきっかけとなることを目的として発行された。

本市においても発行すべきと考えるが、先進自治体の取り組みを参考として、発行に向けて検討する。



祖父母手帳(仙台市)

「思いやり駐車スペース」とは、公共施設や病院などで障がい者、高齢者、妊産婦、小さな子供連れの方などが優先的に利用できる駐車スペースのことである。9月から県も申請を必要とする「ゆずりあい駐車場利用制度」をスタートしている。

本市においても病院や市役所庁舎などに、申請を必要としない「思いやり駐車スペース」の新設とスペース確保を図るべきと考えるが、

市民病院については「思いやり駐車スペース」として表示を行い、豊里病院、上沼診療所、新しい米谷病院については新設する考えである。

その他の質問
・オルレ認定コースの開設について

陸上競技場は優先度の高い事業か

社会情勢の変化に伴う課題はある



岩淵正弘 議員

少子高齢化が急加速する社会情勢の中で、本日に今、陸上競技場の建設が必要なのか。

子どもたちの教育環境整備に向け、より優先して取り組むべき事業があるかと考えるが、

市民の健康増進につながる生涯スポーツの拠点として、複合型施設としての役割を備えた競技場整備を目指している。

一方で、整備に要する費用や期間が想定以上に大きく、本市の財政状況や人口減少などの社会情勢の変化に伴う課題も浮かび上がってきた。

なぜ、高圧線のある土地を選定しているのか。



予定地の頭上には6,600ボルト

また、ボーリング調査箇所が多すぎると思いますが、鉄塔への影響や地盤の軟弱性に対して懸念があるのではないのか。

他の候補地と比較検討の結果、選定した。また、ボーリング数は適当と考えている。

しかし、今回の基礎調査の過程で、事業に対する費用・期間が当初の想定よりもかかることが明らかになってきた。

猛暑によって子どもが危険状態となった事例もある。しっかりと対応策をとっていかねばならないと考える。

29年度病院決算から公約の達成感

医療体制の整備、充実は厳しい



沼倉利光 議員

29年度病院事業決算状況を見て、選挙公報に掲げた公約の達成感と実現のための今後2年半のシナリオを伺う。

患者数の減少による収益減少、職員数や委託料等の経費増で経営損失は約3億3千万円になった。未処理欠損金(赤字)が約15.1億円に増加、資金(現金)不足は、約7億5千万円発生した。

公約の「安心して暮らせる医療体制の整備充実」は、厳しい状況と感ずる。医師不足等を解消して、公約を実現したい。

8月27日に県の保健福祉部医療対策課、医療人材対策室に出向き、常



市民の医療の要、登米市民病院

任委員会で調査を実施。登米診療所について市から県への働きかけ状況を伺った。県はドクターバンク事業について、「そこで医師が辞めることがわかっているのだから、登米市でも前もって講じる手立てがあったのではないかと」明言しているが、

ドクターバンク事業だけでなく、自治医科大からの派遣も、県へ再三

お願いしている。

県と市とは、何か思いに差がある。病院の新築移転の報道に関し、県の考えを伺うと、「具体的な相談はない。箱物の議論も大事だが、どう運営するのか、医療機能の在り方を決める順番で検討すべき」との回答だが、

我々も県から言われている。この財務状況を立て直し、現在の医療状況を打破したい。

指定管理施設は、どこまで増やす

今後5カ所程度を追加予定



日下 俊 議員

市と指定管理者の間で、運営方針や権限はどのようにしていく考えか。

募集要項及び仕様書に業務の範囲、基本的な

考え方やリスク管理の責任分担を示している。

指定管理施設の利用料の減免措置は、何年かに見直しをしているか。

合併以来、何回か見直しをしている。消費税等の値上げで見直しをした。

同じような業種でも指定管理料が大きく異なる理由は何か。

各積算の内容ごとに



指定管理施設(登米市民プール)

利用者アンケート等の収集に努めている。

28年度に修繕を行った施設は107カ所で、1億9千万円かかった。

指定管理施設を運営する上での要望や苦情は、どのようにしているか。

人件費については、指定管理料の範囲内で決定していると認識する。

施設の大規模修繕は、何カ所でのどのくらいの予算を必要としたのか伺う。

各団体によって会計処理の仕方が違うので、仕方がないものと思う。

指定管理施設の職員等の昇給は、市ではどのように考えるか。

負担割合を算定し、指定管理料を決定している。

指定管理者が法人と一般の団体では、備品等の減価償却費が異なるのではないか。そのことによって、指定管理料に差が出てくるか。

問「新しい公共」の考え方について

答公共の担い手、当事者の自覚を



田口政信 議員

の地域づくりの考え方に「新しい公共」の概念を導入し、実行していく必要があると思うがどう考えるか。

問 合併後、市民との協働のまちづくりを推進し、地域コミュニティ協議会を中心に指定管理者制度を導入して、市政運営にあたってきた。今後

などの様々な主体が公共の担い手の当事者として自覚と責任を持って行動し、支え合いにより活気ある社会をつくれると認識している。

問 コミュニティ組織は、「地域づくり計画」を策定し様々な活動を展開しているが、芸能やスポーツ大会が主流である。コミュニティビジネスが展開できる組織づくりを目指すべきと思うがどうか。

答 市内でもイベント等で伝統料理を調理し販売するなど、自主財源の確保の活動を展開している組織もある。

庁舎建設について

問 選挙公約で「新庁舎建設はしない」ことを旗印に当選されたが、考え方に変更はないか。一体感を持たせる意味で建設すべきと思うが。

答 優先的に取り組むことがあり、考えに変更はない。



コミュニティビジネスの一例 (浅水コミュニティ運営協議会)

問 小中学校エアコン設置は待ったなし

答 財源調整を急ぎ、調整に入る



須藤幸喜 議員

問 例年にも増して猛暑が続き、30度を軽く超える気温の中、児童生徒、そして教諭の方々は教室の中で授業を行って

答 例年にも増して猛暑が続き、30度を軽く超える気温の中、児童生徒、そして教諭の方々は教室の中で授業を行って

10校の普通教室254室には、1台も設置されていない。他の自治体の取り組みを参考に

答 エアコン工事費は約7億円と試算している。しかし、学校現場の校長からも、今年は大変苦し



教育環境の整備を

かった状況も聞いている。学校は生活の場、学習の場であることから、安全に過ごせることが第一義であるので、現状の改善に向けて出来るだけ早く検討を進める。

その他の質問
・職員給与によるラスパイレス指数
・時間外縮減に伴う方策の進捗状況

問 学校再編計画の抜本的見直しを

答 丁寧な説明をしながら進める



佐藤恵喜 議員

問 「地域が元気でいられるのは、小学校があるから。地域コミュニティを保つためにも統合の声が地域から出ない限り、小規模校でも存続させ

る」という町がある。総務企画常任委員会で視察した北海道東川町だ。ここは、20年間で人口が約14%増加している。本市もこうした立場に立って、小中学校再編計画を見直す考えはないか。

答 地域ごとの児童生徒数の見直しや、学校施設等の状況等を考慮した環境整備、統合後の学習指導

の充実など学校のあり方を丁寧に示し、理解を得ながら再編を進める。

迫総合支所の改善を

問 生活相談スペースがないなど、狭隘な迫総合支所。女子トイレも含めて、急ぎ改善を。

答 相談者のプライバシー保護、狭い申請書の記載台、女子トイレも混雑などの問題がある。小手先でない改善に取り組む。

新米谷病院の体制は

問 来年2月竣工予定の米谷病院。医師や看護師の体制は大丈夫か。

答 現状の常勤医3名体制で運営する。看護師は随時、採用試験を実施し確保に努める。

その他の質問

・来年度産米の生産の目安と地域とも補償について

問 ポート場を産業振興に活かす

答 大会の誘致定着に努める



曾根充敏 議員

問 長沼ポート場は、全国規模の大会を開催できる競技場だ。

国内有数の施設であることをどう活かすのか。

答 競技環境の優位性に加え宿泊機能が強化された。全国規模のポート大会、合宿の誘致をし、交流人口の拡大を促進する。

問 田瀬湖(岩手)は日本ボート協会の強化施設となった。多くの在京大

答 ハードについては整備が進んだ。ソフトとして人的支援が必要だ。登米漕艇協会には、理解と



全国からのたくさんの人で賑わった南東北インターハイ (29年度)

問 東日本医科学生大会は持ち回りだ。誘致目標として掲げてはどうか。

答 いま誘致で考えているのは、インカレやマスターズだ。地域経済に与える影響もかなり大きい。しっかり見極めたい。

高森公園への思い、どう理解しているのか。

問 これからの高森公園をどうしたいのか。

答 パークゴルフの整備区域とならない南側の山を中心遊具を残し、東側あじさい園と合わせ、家族で楽しめるファミリーゾーンと位置付け、必要な整備を行いながら活用していく。新たに整備される石越高森公園は、子どもから高齢者まで幅広い世代に利用してもらう新たな公園として整備する方針だ。



課題となっている廃校後の活用策 (旧鱒淵小学校)

候補地周辺の安全性に問題ないか

答 用水路や鉄塔がある。関係者と協議

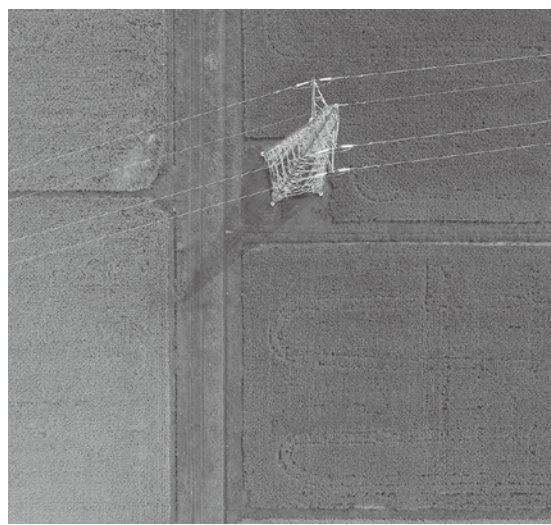


武田節夫 議員

陸上競技場について、日本体育施設協会の建設方針として、方位を南北とつたっている。なぜ南北にしなかったのか。

土地の利用形態から南北方向の配置が困難である。候補地は送電線、鉄塔、大泉用水路が敷地内に入る。危険であり、一番の課題と思うが。

中田アリーナの駐車場を相互利用するが、そよかぜラインを横断することにより、安全対策が大きな課題と認識している。



敷地の一部に鉄塔・送電線が入る候補地

スポーツ審議会は、諮問機関である。議会に1回しか報告されてない。これをどう思うか。

議会に対する説明が不十分であったと反省する。

鉄塔、送電線の下を公共用地として取得した例はあまり聞かない。安全性に対する市長の考えは。

選定の経緯を指摘いただいた。本会議での意見もあり、それを踏まえて精査し、スピード感を持ってこの事業に当たっていく。

ワイズペンディング(賢い支出)をしながら、将来に向けて地域振興を図れる場所に選定すべきでは。

地域の個性を再認識し、市内外の皆さんと交流の拡大と魅力ある地域づくりの拠点としての役割が必要である。

登米市まちづくり推進について

答 重点戦略を着実に推進していく



八木しみ子 議員

人口減少や少子高齢化を踏まえた未来のまちづくりをどう推進していく考えか。

人口は地域活力の根源であり、全ての施策に関わる喫緊の課題である。人口の自然現象抑制に向け重点的に取り組み、未来に向け特色あるまち、笑顔あふれるまちに発展するよう、市政運営の基本である7つの重点戦略を着実に推進していく。

職員の意識改革をどうするのか。

まちづくりの基本理念を「協働による登米市の持続的な発展」と掲げていることから、職員の



早急な対応が求められる人口減少対策

見識を深めるため様々な研修会を開催し、意識改革に取り組んでいる。

「地域の歴史、伝統文化を大切にした特色あるまち」の具体的な取り組みについて伺う。

本市は、長い歴史を有する多くの民族芸能や伝統行事等が守り伝えられている。本年3月に策定した地域文化伝承方策に基づき、文化保存支援

推進会議での意見を基に会員の確保、企業等への情報発信、小中学校、高校への後継者対策や保存団体の自立的活動環境を整備し、豊かな文化が息づくまちづくりを推進する。さらに「若者交流活性化会議」の準備を進めており、若者の視点での議論や斬新な発想を施策に反映していく考えている。

医師招聘は住民と行政一緒に住民運動を

答 若い医師招聘の環境整備を進める



工藤淳子 議員

市民病院は臨床研修医制度の指定を目指し、常勤医師の確保に努力しているが、その後どう進んでいるのか。秋田県鹿角市では、今年4月に精

神科医師が2名赴任するなど、住民と行政が一緒になった住民運動が大きな成果をあげている。本市でも、こうした取り組みが必要では。

まず、若い医師が循環できるシステムづくり、勤務医として選んでもらう環境整備を進め、それが医師確保につながっていくものと考えている。

小中学校にエアコンと網戸の設置を

問 学校の暑さ対策が問題になっている。

子どもたちの命と健康を守るために、早急に設置すべきでは。また、津山中学校では、教室の窓からカメムシやスズメバチが入ってくるという問題がある。網戸が必要な学校には早急に対応すべきでは。

エアコン設置は前向きに、もう一歩前進した形でしっかり対応をしていく。網戸については、実情を調査し対応していく。

石巻赤十字病院にバス停の設置を

車を運転しない高齢者などのために、高速バスを活用した乗り入れはできないか。

バス会社の意向を再確認していく。

登米市の持続可能な介護体制を

答 連携して人材確保対策に努める



佐々木幸一 議員

介護人材確保が大きな課題となっているが、市はどう考えるのか。

介護事業所の皆様とも連携を図りながら、人材確保に努める。

今後の介護サービスの利用見込みから、事業所の増加は必要か。

在宅サービスの利用は、現在の利用定員の範囲内で可能。施設サービスは、需給状況を考慮しながら慎重に対応する。

医療人材不足から介護との連携に不安が大きいが、どう対応するか。

本年度から登米市医師会と新たな情報共有の取り組みを着手し、医療と介護の連携を推進す



人材確保が急がれる介護現場

本市が目指す地域包括ケア体制の現状と課題をどうとらえるか。

顔の見える関係づくり、通信ツールを活用したネットワークを構築し、相談体制の充実と高齢者を地域で支える体制充実に努める。

スマート農業への対応は

市内での取り組みは。産学官連携での実証

実験、農協と商社の試験などが取り組まれている。

農業振興ビジョンにICT活用の農業を位置付ける考えはないか。

農業振興ビジョンの見直しに当たり位置づきたい。

スマート農業の実現には経済界との協力・連携が必要ではないか。

産学官連携を強化し調査・検討を進める。

問 高齢者が元気に活動するために



佐藤千賀子 議員

答 無料の住民バスを運行している

問 地域では、老人会やグラウンドゴルフなど高齢者は元気に活動している。しかし、運転免許の自主返納をした方々は活動の場に向かうための移動手段が限られ、大変苦慮していると聞かす。

答 20年度から高齢者運転免許自主返納支援事業を実施している。65歳以上で有効期限内に自主返納した代替交通手段として、市民バスを1年間無料乗車できる「あしがらくん」を交付している。また、1回100円のワンコイン市民バス、各町域内に無料の住民バスも



免許返納により活動が限られる高齢者

運行している。問 免許返納によって自信がなくなり、だんだんうつ状態になるということが考えられる。そのような人たちが2025年〜30年に向かって大勢増えてくると思うが、市ではメンタル的な調査を行ったことはあるか。

答 免許返納後のアフターフォローの取り組みはしていない。問 夜間に救急搬送されても、入院の必要がないと診断された場合、高齢者はタクシーで帰宅し、再来院せざるを得ないリスクがある。専用の待合室を整備できないか。

答 市民病院において、今まで食堂のあった部屋を外来患者さんがくつろいでいただけるようなスペースを確保した。利用できるか検討する。

問 県の調査によればメタボリック症候群と同予備軍の圏域別割合で、本市女性が県内トップ、男性は2位であることが公表された。2015年度、宮城県は全国ワースト3であることから、本市は全国有数のメタボ市であることがうかがえる。市民の健康と命を守るためにも、「脱！メタボ市」を宣言し、市民への意識づけとあわせ、脱メタボ作戦を展開してはどうか。

答 医師に負担をかけるだけでなく、まず市民の皆さまみずからが少しでも健康を維持している姿勢が重要である。

問 脱メタボ対策で市民の健康を守れ



関 孝 議員

答 市民への積極的な啓発活動が重要



みんなためぞう！スマート健康

宮城県の「メタボ対策」と予防を合わせた「脱メタボ」は、なんと全国ワースト3位。この現状を打開するために、全県民一丸となって脱メタボを目指しましょう！

問 子どもの肥満率も高く、早速、課題として検討したい。

答 子どもの肥満率も高く、早速、課題として検討したい。

2年目に募集、3年目に導入することとしている。長沼ボート場クラブハウスは直営で32年度から導入。パークゴルフ場は石越高森公園との一体管理により、サービスや効率性の向上が図られることから、31年度の導入を検討。既存施設との連携が期待される(仮称)新登米懐古館は、早い段階での導入を検討している。

あなたの声 市民メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

人を育てる町、登米市に



かわさき きよみ 河崎清美さん (登米)

東日本大震災の後、ボランティアとして来たのがきっかけで、今は登米町に住み、復興応援施設としてつくられた「手のひらに太陽の家」の運営に関わっています。

子ども支援を中心に活動する中で、人を育てるということが、手間隙かかり、「思い通りにいかないものだ」と実感させられています。気持ちを通じた時の喜びは、またひとしおです。便利な物が豊富にある現代で、私たちは、待つこと、我慢することが苦手になり、昔は普通に備わっていた、あるもので工夫する力、危険を察知し排除する力も低下気味です。結果が早く見えるものを好み、危険が潜むものは排除する傾向はごもありませんが、困難を乗り越えてこそ、人は育つもの。あえてそんな「場づくり」を応援する登米市であってほしいと願います。

産み育てる喜びの登米市に

私は公立米谷病院で4人の子どもを産みました。若くて不安だらけの私は、医師をはじめ病院スタッフの方々の言葉や対応に深く感謝したものです。今、登米市では産婦人科が減ってしまい、産みにくくなっているのが残念です。

子どもたちは、祖父母の助けを全面的に受けて育ちました。当時その形は多くの家庭で普通であり、働く私たちには安心でありがたいことでした。しかし今はそれが望めるケースは多くなく、事実、私も現役に近い仕事をしており、孫たちの世話はしていません。母親の職場の近くに、小さくても安心できる保育園や保育施設があつて、職場からの昼休み授乳などが働き方改革で可能になつたら、若い父母はどんなにうれしかったか。



おおはた のりこ 大畑典子さん (中田)

産婦人科・保育施設が遠くなく、きめ細かい対応が可能ですが、登米市の底力の一つになると信じます。

この地に暮らしたい



あべ きよのり 阿部清典さん (津山)

私たちの暮らす沢田地区は、戸数44軒の兼業農家が主です。各家庭のほとんどの子どもたちが地元を離れ、高齢者の割合が高いのが現状です。若い世代は会社勤務ということで、近隣住民との触れ合いは少なかつたのですが、地域の先輩方の声掛けにより、休耕地を利用した野菜作りを始めています。都合のつく日にみんなが集まることで会話し、共に汗を流す。その仲間と旅行する、これがとにかく楽しい。大きな商業施設はないけれど、豊かな自然の中で暮らすのも悪くない。ストレス社会で働き、新しい生活を始めている子どもたちに、この思い分るかな。

小さな子どもたちの声が、週末だけではなく毎日飛び交う、そんな地域になればと願っています。



人 事

人権擁護委員候補者の
推薦に同意

及川 さよ子氏 (中田)

瀬戸 栄典氏 (中田)

佐々木 恵子氏 (南方)

佐々木 裕美子氏 (豊里)

堀田 耕平氏 (津山)

第29回長沼レガッタに参加しました

9月23日にアイエス総合ポ
ランド(長沼ポート場)におい
て、第29回長沼レガッタが開催
されました。
議会からも4年ぶりに参
加。成績は振るわなかったもの
の、気持ちのいい汗を流し、市
民皆さまとスポーツの秋のひと
時を過
ごしま
した。
参加し
た議員
は、来年
のリベン
ジを誓
つていま
した。



レガッタ表彰式

議会のホームページを 開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報
をお知らせしています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

議会のfacebookも開設しています。

登米市議会



いいね!をお願いします



あ と が き

9月定期議会では、活
発な議論のもと、29年度
決算を認定しました。

私のとっては、初めての
議員経験であった昨年度
を振り返ることができ、
大変有意義な議会です
でした。また、議案を全会一致
での否決から、議会の監
視機能の強さを実感し
ました。

あらためて思うこと
は、議会が担うべき役割
と責任は大であり、それ
ゆえ市民皆さまとの意識
共有がいかに大切かとい
うことです。今後も皆さ

広報広聴委員会

委員長	日下 俊
副委員長	佐々木好博
委員	上野 晃
	曾根 充敏
	須藤 幸喜
	岩淵 正弘
	佐藤千賀子
	熊谷 和弘
	関 孝
議長	及川 昌憲